

<Google Meet> 便利なニックネーム付き会議

Google Meet の会議コードを入力する欄（右図赤枠）には、「abc-defg-hijk」のような会議コードだけではなく、「ict-tsusin」や「himawari」等のニックネームを入力することができます。ニックネームは市のGoogleアカウントにて使用可能です。

ニックネームで Meet を始めると一番初めに入った人がオーナー（主催者）となります。ニックネームは会議コードと同じ使い方が可能で、同じコードを入力した人と Meet を行うことができます。

誰でも使えるセキュアなビデオ会議サービス

Google Meet なら、離れている人とも顔を見ながらコラボレーションや会話を行えます

📄 新しい会議を作成

🗨️ コードまたはニックネームを

※同じものを入力すると Meet へ入ることができてしまいます。そのためニックネームは「市内で重複せず、わかりやすいもの」にする必要があります。（例：学校名＋クラス名等）

<すららドリル> 課題を出す手順が一部変更されています

すららドリルを開いて最初の画面から、直接「ラーニングデザイナー」を開いた場合* の課題の出し方が変更されています。旗マークを動かして課題を出す形式から、対象を選択し保存を行う形式となっています。なお、**学習範囲（課題として出す範囲）**の選択方法は変更ありません。

※「目標進捗管理」→「ラーニングデザイナー」から課題を出す場合、以前と同じく旗マークを動かす形式となっています。



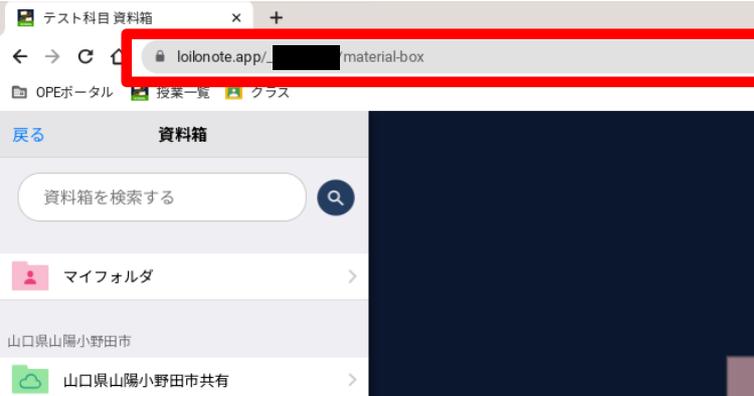
①	学習範囲の選択を行った後、課題を出す対象を「個人」と「グループ」から選択します	<input type="radio"/> 個人に目標を設定 <input checked="" type="radio"/> グループに目標を設定 ① グループ一覧 グループ名昇順 ②
②	必要であれば、クラスや名前等で表示の絞り込みを行います	
③	目標を設定する個人やグループを選択します。（選択されるとオレンジ色に変わります）	③
④	「目標を保存する」ボタンをクリックし、③で選択した対象に課題を出します	④

<ロイロノート> カード画面から直接「送る」ことができます！

<p>カードの編集画面の右上に、「送る」ボタンが追加されています</p>	
<p>「送る」ボタンからは、ロイロノートの画面の左側にあるアイコンと同等の機能が利用できます。</p> <p>教職員側には「画面配信」もあり、選択しているカードを画面配信することも可能です</p>	 <p>教職員</p> <p>児童生徒</p>

<ロイロノート> 資料箱のデータにURLが使えます

資料箱の中身をアドレスで指定できるようになりました。授業で使用する資料を「資料箱の〇〇フォルダの中の△△」と指定すること無く、資料のアドレスをWebカードやクラスルームで共有することでフォルダやカードを開くことができます。

<p>資料箱を開くと、上部のアドレス欄が変化します。(右図赤枠) このアドレスを共有することで、資料箱内の同じフォルダや同じ資料を開くことができます</p>	
<p>アドレスを知っていても、他のクラスや他の学校の資料を閲覧することはできません</p>	<p>エラー [403]</p> <p>リクエストされたリソースに対する権限がないようです</p> <p>トップページに戻る</p> <p>• ステータスページで障害情報を確認する</p>